

## 平成22年01月度～22年03月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品 名 ポゾリスNo. 70-250  
 種 類 AE減水剤 標準形 (I種)

## 1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	通常管理試験値	
フレッシュ コンクリート	減 水 率 %	10 以上	13	13	
	ブリーディング量の比 %	70 以下	54	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^2$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差 分	始 発	-60 ~ +90	+20	+25
		終 結	-60 ~ +90	+15	+25
経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—	
	空気量 %	— 以内	—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	110 以上	130	124
		材齢28日	110 以上	119	116
	長さ変化比 %	120 以下	99	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)		60 以上	99	—	

備考1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.20\text{ kg/m}^3$  通常管理試験  $3.20\text{ kg/m}^3$

備考2. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年12月の試験結果である。ただし圧縮強度の通常管理試験は年1回実施し、この表に表示されている試験値は、平成21年09月の試験結果である。

備考3. この表に書かれている形式評価試験は、平成17年09月に (株)エヌエムビー中央研究所で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	通常管理試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.02 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.01 %	3.20 kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.03 kg/m <sup>3</sup>	0.9 %	3.20 kg/m <sup>3</sup>	0.03 kg/m <sup>3</sup>

備考1. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年12月の試験結果である。

備考2. この表に書かれている形式評価試験は、平成17年09月に (株)エヌエムビー中央研究所で実施した試験結果である。

## 3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)	1.04 ~ 1.08	1.065

備考. この表に表示されている試験値は、平成21年12月の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 250ml/C=100kg (原液換算)



平成22年01月度～22年03月度

コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品 名 ポゾリス 15S  
種 類 AE減水剤 標準形 (I種)

## 1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	通常管理試験値	
フレッシュ コンクリート	減 水 率 %	10 以上	15	15	
	ブリーディング量の比 %	70 以下	50	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差 分	始 発	-60 ~ +90	+60	+55
		終 結	-60 ~ +90	+55	+45
経時変化量	スランプ cm	— 以下	—	—	
	空気量 %	— 以内	—	—	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	110 以上	130	130
		材齢28日	110 以上	120	126
	長さ変化比 %	120 以下	99	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	97	—		

備考1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.00\text{ kg/m}^3$  通常管理試験  $3.00\text{ kg/m}^3$ 

備考2. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年12月の試験結果である。ただし圧縮強度の通常管理試験は年1回実施し、この表に表示されている試験値は、平成21年09月の試験結果である。

備考3. この表に書かれている形式評価試験は、平成17年09月に (株)エヌエムビー中央研究所で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	通常管理試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.02 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.01 %	3.00 kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.05 kg/m <sup>3</sup>	1.9 %	3.00 kg/m <sup>3</sup>	0.06 kg/m <sup>3</sup>

備考1. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年12月の試験結果である。

備考2. この表に書かれている形式評価試験は、平成17年09月に (株)エヌエムビー中央研究所で実施した試験結果である。

## 3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ , 20°C)	1.04 ~ 1.10	1.078

備考. この表に表示されている試験値は、平成21年12月の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 CX1.0%

## 平成22年01月度～22年03月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

 品 名 レオビルドSP8S  
 種 類 高性能AE減水剤 標準形 (I種)

## 1. コンクリートの試験結果

項 目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	通常管理試験値	
フ レ ッ シ ユ コ ン ク リ ー ト	減 水 率 %	18 以上	18	18	
	ブリーディング量の比 %	60 以下	33	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^3$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差 分	始 発	-60 ~ +90	+40	+55
		終 結	-60 ~ +90	+45	+50
経時変化量	スランプ cm	6.0 以下	2.5	3.0	
	空気量 %	$\pm 1.5$ 以内	+0.5	-0.2	
硬 化 コ ン ク リ ー ト	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	125 以上	146	140
		材齢28日	115 以上	131	125
	長さ変化比 %	110 以下	98	—	
	凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	97	—	

 備考1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $3.85\text{ kg}/\text{m}^3$  通常管理試験  $3.85\text{ kg}/\text{m}^3$ 

備考2. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年11月 の試験結果である。ただし圧縮強度の通常管理試験は年1回実施し、この表に表示されている試験値は、平成21年05月 の試験結果である。

備考3. この表に書かれている形式評価試験は、平成17年06月に (株)エヌエムビー中央研究所 で実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量及び全アルカリ量

項 目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	通常管理試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学 混和剤の使用量	試 験 値
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.02 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.00 %	3.85 kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.02 kg/m <sup>3</sup>	0.9 %	3.85 kg/m <sup>3</sup>	0.03 kg/m <sup>3</sup>

備考1. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年11月 の試験結果である。

備考2. この表に書かれている形式評価試験は、平成17年06月に (株)エヌエムビー中央研究所 で実施した試験結果である。

## 3. その他の項目

項 目	規 格 値	試 験 値
密 度 ( $\text{g}/\text{cm}^3$ , 20°C)	1.01 ~ 1.08	1.043

備考. この表に表示されている試験値は、平成21年11月 の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 CX1.1%



## 平成22年01月度～22年03月度 コンクリート用化学混和剤(JIS A 6204)試験結果報告書

品名 レオプラス800S  
種類 高性能AE減水剤 標準形 (I種)

## 1. コンクリートの試験結果

項目		JIS A 6204による規定値	形式評価試験値	通常管理試験値	
フレッシュ コンクリート	減水率 %	18 以上	19	18	
	ブリーディング量の比 %	60 以下	31	—	
	ブリーディング量の差 $\text{cm}^3/\text{cm}^2$	— 以下	—	—	
	凝結時間の差分	始発	-60 ~ +90	+60	+30
		終結	-60 ~ +90	+80	+35
経時変化量	スランプ cm	6.0 以下	1.5	1.0	
	空気量 %	$\pm 1.5$ 以内	-0.7	-0.3	
硬化 コンクリート	圧縮強度比 %	材齢1日	— 以上	—	
		材齢2日 (5°C)	— 以上	—	
		材齢7日	125 以上	147	
		材齢28日	115 以上	124	
	長さ変化比 %	110 以下	90	—	
凍結融解に対する抵抗性 (相対動弾性係数 %)	60 以上	91	—		

備考1.  $1\text{m}^3$ 当たりの化学混和剤の使用量 形式評価試験  $5.60\text{ kg}/\text{m}^3$  通常管理試験  $5.25\text{ kg}/\text{m}^3$

備考2. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年11月の試験結果である。ただし圧縮強度の通常管理試験は年1回実施し、この表に表示されている試験値は、平成21年08月の試験結果である。

備考3. この表に書かれている形式評価試験は、平成19年09月に (財)建材試験センターで実施した試験結果である。

2. 塩化物イオン(Cl<sup>-</sup>)量及び全アルカリ量

項目	JIS A 6204 による規定値	形式評価試験値	通常管理試験		
			化学混和剤中の含有量	$1\text{m}^3$ 当たりの化学 混和剤の使用量	試験値
塩化物イオン(Cl <sup>-</sup> )量	0.02 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.00 kg/m <sup>3</sup>	0.00 %	5.25 kg/m <sup>3</sup>	0.00 kg/m <sup>3</sup>
全アルカリ量	0.30 kg/m <sup>3</sup> 以下	0.02 kg/m <sup>3</sup>	0.4 %	5.25 kg/m <sup>3</sup>	0.02 kg/m <sup>3</sup>

備考1. 通常管理試験は3か月ごとに年4回実施し、この表に書かれている試験値は、平成21年11月の試験結果である。

備考2. この表に書かれている形式評価試験は、平成19年09月に (財)建材試験センターで実施した試験結果である。

## 3. その他の項目

項目	規格値	試験値
密度 (g/cm <sup>3</sup> , 20°C)	1.05 ~ 1.13	1.075

備考. この表に表示されている試験値は、平成21年11月の試験結果である。

注)セメント質量に対する化学混和剤使用量 Cx1.5%